

～農業者と技術提案者との直接対話によるニーズと
技術のマッチングミーティングが開催されます～

農業の現場においては、経営改善や労働負担軽減のため、現場が抱える技術的なニーズに対応する新たな技術の導入についての関心が高まっています。また一方で、近年、AI、ICT、ドローン等の先端技術が著しく発展する中で、ベンチャー企業等による、農業に関する新たな技術・サービスの提供も増えています。しかし、これらの企業等はこれまで農業分野との関わりが少なかった場合も多く、双方の情報（農業現場のニーズ、企業等による技術）が必ずしも相互に伝わっていないため、新たな技術の導入等が必ずしも進んでいない現状にあります。

このため農林水産省では、農業現場における技術ニーズを広く集めるとともに、農業者と企業等が直接に対話する「マッチングミーティング」の開催など新たな技術の導入や改良を促しています。

この取組として、下記により「農業現場における新技術の実装に向けたマッチングミーティング（第3回畜産）（第4回果樹）」を開催しますので、農業者の皆様におかれましては是非ご参加ください。

**農業者と企業・研究機関との
マッチング
ミーティング**

畜産

開催日時
2018.11.22 (木) 13:00

農林水産省 7F [第1会場：講堂
第2会場：国際部第2会議室]

内容
 - MAF Fピッチ（技術提案企業等からのプレゼン）
 - 個別ブースでの企業・研究機関との相談会

技術テーマ
 - 農産に活用できる以下の最新技術
 ① 家畜生体管理
 ② 畜舎防除技術
 ③ 畜舎防除技術
 ④ 草地管理

■ アクセス
 駐車場：JR東京駅より東京メトロ丸ノ内線
 移動手段：東京メトロ日比谷線・千代田線
 各種「タクシーアプリ」A7出口よりすぐ
 正面玄関よりご入場ください。（お手数をおかけいたします）

■ お問い合わせ先
 農林水産省大臣官房政策インベーション創出グループ
 担当：太田、田島、表谷（ひょうた）
 ☎ 03-6744-0494 ✉ Innovation_group@maff.go.jp

農林水産省

**農業者と企業・研究機関との
マッチング
ミーティング**

果樹

開催日時
2018.12.21 (金) 13:00

農林水産省 7F [第1会場：講堂
第2会場：共用第1会議室]

内容
 - MAF Fピッチ（技術提案企業等からのプレゼン）
 - 個別ブースでの企業・研究機関との相談会

技術テーマ
 - 果樹生産に活用できる以下の最新技術
 ① アシストツール
 ② ドローン
 ③ 施設園芸除草（ロボット等）
 ④ 技術の継承
※ 技術テーマは変更の可能性があります。また、出席企業は決定次第お知らせします。

■ 参加申し込みについて
申し込み締め切り：12/20(木)まで
参加申し込みは、農林水産省Webサイトの参加申し込みフォームより御願いいたします。
※ 応募多数の場合、ご参加をお断りさせていただくことがありますので、ご了承下さい。

▼ 参加申し込みはこちら
https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kihyo01/matching_meeting_4th.html

スマートフォンからはQRコードよりアクセス可能です。

■ お問い合わせ先
 農林水産省大臣官房政策インベーション創出グループ
 担当：太田、田島、表谷（ひょうた）
 ☎ 03-6744-0494 ✉ Innovation_group@maff.go.jp

農林水産省

▼参加申し込みはこちら▼

第3回畜産の出席登録フォームはこちら：

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kihyo01/matching_meeting_3rd.html

第4回果樹の出席登録フォームはこちら：

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kihyo01/matching_meeting_4th.html



～薬剤師の資格を活かし漢方の知恵を取り入れた加工食品の開発に取り組む～
「株式会社ファイブスター・オーチャード」

伊奈町で新規就農し、平成30年に法人を設立してブルーベリーの生産・加工に取り組む「株式会社ファイブスター・オーチャード」代表の道下知美さんをご紹介します。

☆県、町、大学、農家の产学研官連携で漢ジャムのシリーズ化に挑戦！☆

道下知美(みちしたともみ)さんは、現在、夫の肇郁(としふみ)さんとブルーベリー80a、ネギなどの露地野菜を30a栽培しています。栽培するブルーベリーは約60種にのぼり、生食のほかジャムやジュースなどの加工販売に取り組んでいます。

知美さんは、元々植物や果樹が好きで、趣味で夫と10年前からブルーベリー栽培を手がけ、また、子供をのびのび育てながら、農業で生計を立てる夢を抱いていたそうです。



ブルーベリー

夢の実現に向け一歩踏み出したのが、4年前に夫の肇郁さんが旧JAあだち野(現JAさいたま)「明日の農業担い手塾」で研修を受けたこと、その後、ご夫婦揃って平成29年に就農しました。

知美さんは、就農当初からジャム加工にも取り組み、各種研修にも積極的に参加し加工技術を高めてきました。平成30年5月には、ジャムなどの加工食品を販売していくために、「株式会社ファイブスター・オーチャード」を設立し、代表に就任しました。

知美さんは、薬剤師でもあり以前から漢方に関心があったことから、目に良いとされるブルーベリーの効用を活かした加工食

品を開発したいと考え、さいたま農林振興センターに仲介をお願いし、町内にある日本薬科大学に協力を要請しました。知美さんの熱意が大学関係者を動かし、協力が得られることとなりました。大学とは試行錯誤を重ね、遂に、ブルーベリーにクコの実や菊花を加え、目に良いとされる食材を組み合わせたジャム(=漢ジャム)を完成させました。

知美さんは、「現代は食と農が大切にされていないと感じ、将来は、薬剤師としての資格を活かしつつ、漢方の医食同源の考え方を取り入れた体に良い食品の開発や薬膳レストランの開設などを考えている。」と話されています。

そのため当面は、日本薬科大学の先生方や県、町の支援を頂きながら、漢方を元にしたジャムをシリーズ化していきたいと目を輝かせていました。



代表の道下知美さん



漢ジャム

編集：関東農政局 埼玉県拠点

〒330-9722 さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館

TEL 048-740-5835 FAX 048-601-0510

<関東農政局HP> <http://www.maff.go.jp/kanto/>